

船舶事故調査報告書

平成26年5月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

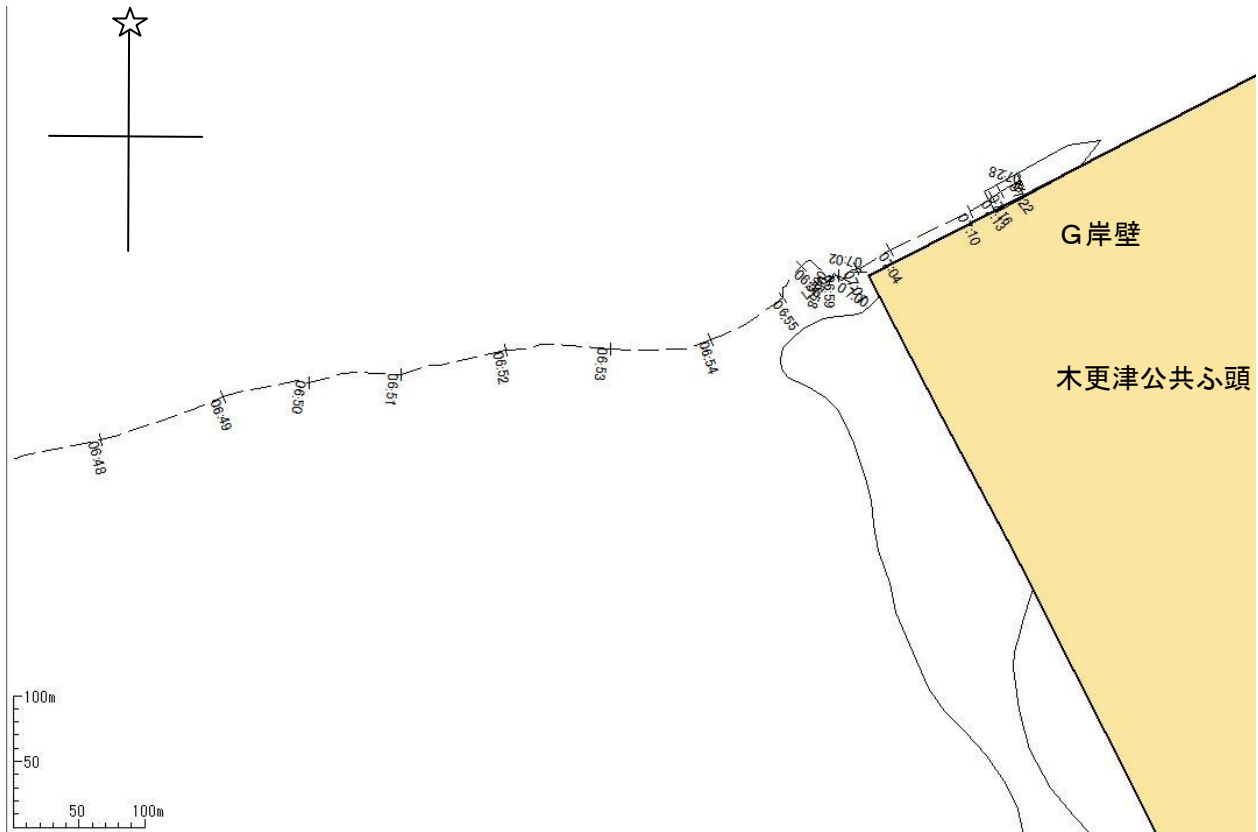
委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成24年11月2日 06時55分ごろ
発生場所	千葉県木更津港の木更津公共ふ頭北西端 千葉県君津市所在の木更津港防波堤西灯台から真方位105° 2,500m付近 (概位 北緯35°22.3′ 東経139°53.3′)
事故調査の経過	平成24年11月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	貨物船 シンライン 6（マレーシア籍）、5,558トン 8603248（IMO番号）、SHINLINE SDN BHD 98.17m×18.80m×12.90m、鋼 ディーゼル機関、2,250kW、1986年7月
乗組員等に関する情報	船長（中華人民共和国籍） 男性 45歳 締約国資格受有者承認証 船長（マレーシア発給） 交付年月日 2012年8月23日 (2013年8月12日まで有効)
死傷者等	なし
損傷	本船 右舷前部外板に破口 岸壁 岸壁縁部及び車止めなどに破損
事故の経過	本船は、船長ほか19人が乗り組み、合板を約2,998m ³ 積載し、船首約4.7m、船尾約4.8mの喫水により、木更津港外の錨地を出発し、木更津公共ふ頭G岸壁（以下「本件岸壁」という。）に向かった。 船長は、船橋で操船指揮に当たり、三等航海士を機関操作に、当直甲板手を操舵にそれぞれ当たらせ、木更津港内に入って航路を東進し、船首と木更津公共ふ頭北西端までの距離が約300mとなったとき、機関を種々に使用して速力を減じ、本件岸壁に向かって約2ノットの速力で航行した。 本船は、減速後、左舷正横から風速約13m/sの北の風を受けて次第に右舷方に圧流されるようになったことから、船長が船首を木更津公共ふ頭から離そうとしたが、木更津公共ふ頭に向かう態勢で徐々に

	<p>接近し、平成24年11月2日06時55分ごろ右舷前部が木更津公共ふ頭北西端に衝突した。</p>
<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 5、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期</p>
<p>その他の事項</p>	<p>船長は、木更津港への入港が2回目であった。 船長は、本事故前日の21時ごろ港外に錨泊し、タグボートの手配を試みたが、代理店と連絡を取ることができず、手配することができなかった。 (付図1 推定航行経路図、付表1 AIS記録(抜粋)、写真1、2 本船の損傷写真、写真3、4 本件岸壁の損傷写真 参照)</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし あり</p> <p>本船は、木更津港において、本件岸壁に着岸作業中、左舷正横から風速約13m/sの北の風を受け、右舷方の木更津公共ふ頭に向けて圧流されたことから、木更津公共ふ頭北西端に衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、木更津港において、本件岸壁に着岸作業中、左舷正横から風速約13m/sの北の風を受け、右舷方の木更津公共ふ頭に向けて圧流されたため、木更津公共ふ頭北西端に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の影響を考慮してタグボートを使用するなど着岸操船を適切に行うこと。

付図1 推定航行経路図



付表1 A I S記録 (抜粋)

時刻 (時:分:秒)	船位		対地針路 (°)	船首方位 (°)	対地速力 (kn)
	北緯 (° -' -")	東経 (° -' -")			
06:40:24	35-22-09.2	139-52-16.9	112.7	105	6.3
06:41:24	35-22-07.2	139-52-23.5	099.8	085	5.5
06:42:24	35-22-07.3	139-52-29.8	085.6	078	4.9
06:43:24	35-22-08.1	139-52-34.6	082.3	075	4.2
06:44:14	35-22-08.7	139-52-38.9	080.3	071	3.7
06:45:14	35-22-09.5	139-52-42.8	077.5	069	3.1
06:46:14	35-22-10.1	139-52-46.4	080.4	066	2.9
06:47:24	35-22-10.9	139-52-50.9	073.0	064	3.1
06:48:24	35-22-11.5	139-52-54.2	076.8	064	2.8
06:49:24	35-22-12.4	139-52-57.3	076.8	071	2.7
06:50:24	35-22-12.9	139-53-00.4	085.0	069	2.4
06:51:24	35-22-13.1	139-53-03.4	081.4	068	2.4

06:52:25	35-22-13.6	139-53-06.4	085.6	066	2.5
06:53:24	35-22-13.5	139-53-09.5	084.8	055	2.1
06:54:24	35-22-13.8	139-53-11.8	072.3	048	1.7
06:55:24	35-22-15.0	139-53-13.8	051.2	066	1.5
06:56:25	35-22-15.7	139-53-14.6	074.1	070	0.6
06:57:24	35-22-15.3	139-53-15.1	146.5	058	0.1
06:58:23	35-22-15.2	139-53-15.2	049.8	062	0.4

写真 1、2 本船の損傷写真



写真 3、4 本件岸壁の損傷写真

